

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)交付金事業 委員評価シート

No.	事業名	担当課	事業全体の評価 (いずれかに○)		「事業の内容」に記載されている各個別事業等への意見・今後の提案等
1	あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を～みんなが主役の地域振興事業～	産業・環境政策課	総合戦略のKPI達成等に非常に有効であった		<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の京都は意味のある取組と考えるが、本町にとって、支出した金額に見合った成果があるかわかりにくい。 ・お茶の京都DMOと協力し、小さくても本町にスポットを当てた取組もあってほしい。 ・どうしても近隣市町に注目がいってしまい、久御山＝お茶のイメージが少ない気がする。お茶をメインにしたアンテナショップを作ることができれば良いと思います。 ・広域連携事業ということもあり、なかなか本町でアピールできるものとできないものがあると感じました。地域文化資源の人による感じ方も変化してきていると思います。 ・「お茶の京都DMO」事業は広域の地方公共団体での取組であり、効果は限定的な感がある。特に「お茶」＝宇治・宇治田原というイメージ。 ・一方で、近時の観光入込客数は令和5年度の実績値以上の数値を想定。各エリアでの特色を生かした観光面を通じた地域づくりは推進できており、一定の効果はあったと考える。 ・今後、久御山エリアへの効果という評価が、具体的に検証できればありがたい。 ・交通網の整備には、渋滞の緩和も必要だと思います。もう少し町内を走る車を減らすことも考えてほしいです。 ・旧村内の空き家を利用した古民家カフェがオープンし、定住とは違うが空き家が減り、人が集まる場所ができたことは良いことだと思う。 ・事業内容として「地域づくり京ファンドの活用と地域づくり支援」、「地域文化資源を活用した取組事業の推進」が追加されています。今は不便な場所でも事業内容さえ良ければSNS等で集客がはかれると思います。今後久御山町も事業規模にかかわらず積極的に京ファンドの利用を推し進め、多種多様な事業を応援すると共に久御山町をアピールされてはと思います。 ・前年度の意見・提案に対する検討や取組はあったのかどうかお聞きしたかったです。 ・魅力発信に加え、町の重要な資源である農産物への波及なども模索されてはどうか。(例)いずれは観光の柱になることを期待しつつ観光客、関係人口へのブランド加工品PRなど
	9	総合戦略のKPI達成等にある程度有効であった		<ul style="list-style-type: none"> ・包括的な取組で高く評価したい。 ・評価はもう少し細分化して行った方がよいのではないかと。 ・自治会・町内会については、DXなど現代化を図りつつ業務の仕分けを行い、全ての自治会等を実施してもらうことは最低限の業務とし、それ以上のことはメニュー式に選択できるようにすることも一考。 ・(公共)交通の便が悪いのを逆手にとって、そうした生活の中での脱炭素を大きくPRした街づくりを前面に出した方が良いように思う。 ・色んな方面より、多角的に各事業をされていることは素晴らしいと思った。自身も知らない事業がたくさんあり、勉強になった。 ・町として大きく舵をきった方が、中途半端にやるよりも町のためになると思う。(個人的には、民間企業に注力した方が良いと思う。) ・やはり社会動態の指標が最重要だと思います。そこに(事業を)どのように繋げていくかを、もう一度検討していった方が良いと思いました。 ・社会動態が目値を大きく下回っている点が気になる。空き家バンクも有効と考えるが、不動産業者等と情報共有が可能であれば久御山への移住希望者の動向が見れると良いと考える。また、税制面や、子育て支援、福祉面等、他地域と比較して良い点をもっと地域内外へ発信できないか。(今でも久御山に住むメリットは多くあると思います。) ・文化祭などのイベントに関して、町内各所でのぼり、ポスターをもっと掲示する、また地域内の放送などで、今以上に盛り上がる雰囲気を作れば、賑わいのある地域に繋げていけないか。(町内事業所も敷地利用などで協力してくれるところもあると思います。) ・社会動態・指標においては、現状未達とはなっているが、取組事業が進行期の段階にあるものも含まれている。特にデジタル田園都市国家関連やまちづくりセンター整備事業については、今後、具体化、具現化すれば、将来的に社会動態項目の指標は改善が見込めると考えます。その他指標は達成できており、引続き実績を伸ばす取組が必要と考える。 ・はぐくみ定期便など、妊娠、出産後のきめ細かい支援はとても充実していると思いますが、やはり2人、3人目を考えるのはその先の経済的・精神的不安によるところが大きいと思うので、長期的な支援を望みます。 ・事業名に掲げる「ゆとりと賑わいある地域の絆再構築」に関する取組については、結果が出ていると思います。しかし「脱炭素」への取組については、脱炭素という言葉の一般的なイメージに沿った具体的な取組、例えば脱炭素住宅に対する補助金、脱炭素を進める企業への支援といった事業を進めていかれてはいいかがでしょうか。 ・「脱炭素」のキーワードが強力すぎて「ゆとりのある生活」のイメージが湧きにくい。町における「こうした生活ができる」イメージが町内外に伝わりやすくなる工夫を検討されてはどうか。 	
	1	総合戦略のKPI達成等にあまり有効とは言えない			
		総合戦略のKPI達成等に有効とは言えない			
2	脱炭素×ゆとりと賑わいのある地域の絆再構築事業	企画財政課 国保健康課 産業・環境政策課 建設課 新市街地整備課 学校教育課 生涯学習応援課	総合戦略のKPI達成等に非常に有効であった		3
	6	総合戦略のKPI達成等にある程度有効であった			
	1	総合戦略のKPI達成等にあまり有効とは言えない			
		総合戦略のKPI達成等に有効とは言えない			